

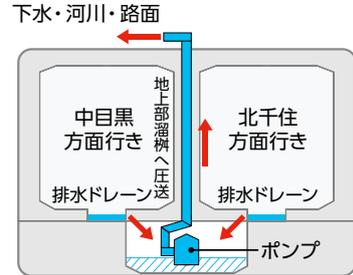
沿線地域の環境緩和

□ トンネル内湧水の活用

東京都からの要請を受けて、日比谷線恵比寿駅付近の地下鉄トンネル内に湧き出る地下水を、渋谷川まで導水の上放流をしています。この取組により、渋谷川の水量確保と水質改善がなされ、周辺地域における潤いのある都市環境の再生が図られます。

2015年度は、日比谷線の恵比寿ポンプ室から渋谷川に、約91,522m³を放流しました。

▶トンネル内湧水の放流イメージ図



□ 海の森プロジェクトへの参加

東京メトログループでは、東京都が主催する「海の森」プロジェクトに参加しています。この活動により、森がCO₂を吸収して地球温暖化を防止することや、海から都心に向かう「風の道」をつくることでヒートアイランド現象を抑止することを目指しています。

2015年度は、11月に東京メトログループ社員とその家族164名が苗木の植樹活動に参加し、東京2020オリンピック・パラ

リンピックの会場予定地に多くの木々を植え、自然豊かな森の整備に貢献しました。



植樹活動の様子

□ 水田除草体験イベントの実施

2016年度の新たな取組として、7月に東京都足立区内の足立都市農業公園において、同公園内の無農薬無化学肥料で作付けする水田の除草体験を実施しました。

今回の活動には、東京メトログループ社員とその家族74名が参加し、水田にはカエルやタニシなどの多様な生物が生息し、除草剤などの農薬を使用しないことでそれらの住環境を維持して

いることを学んだほか、手作業での除草作業をすることでそれらの生物と触れ合うことができ、参加者たちの環境保全意識の向上を図ることができました。



水田除草作業の様子

□ 駅の緑化

東西線浦安駅では、環境配慮型駅へのリニューアル工事に合わせ、駅前広場に面する駅の正面口の一部を壁面緑化しました。

2階には常緑の低木、ホーム階にはつる植物による緑の壁をそれぞれ設けており、壁面を緑で覆うことで表面温度が下がるほか、周辺環境への熱の照り返しを防止し、近隣の環境・景観保

全に貢献しています。

また、雨水を利用した自動灌水装置を導入しており、これを用いて緑化した壁面への水やりを行っています。



壁面緑化された浦安駅

□ 駅周辺清掃活動の実施

東京メトロでは、CS活動の一環として、地元の自治体や周辺住民と合同で、駅構内や出入口上屋、駅周辺等の清掃活動を実施しています。2015年度は、上野駅務管区、北千住駅務管区などで実施しており、今後も実施駅を拡大していく予定です。

全に貢献しています。



北千住駅周辺での活動の様子